



STEP WORLD TIMES

フォニックスって何？

東洋学園大学教授 下山幸成先生

みなさん、フォニックス(Phonics)って、ご存知ですか？最近、日本では子どもの英語教育にフォニックスを教えるスクールや教材が増えてきています。「初めて見る単語が読める」「発音がきれいになる」と言われるフォニックス。今号は、「フォニックスとは？」という基礎の基礎から日本人が注意すべき点などを含め、英語教育学がご専門の下山幸成先生にお話しをお伺いしました。

フォニックス(Phonics)とは

英語の「音」と「つづり字」の関係を教えることで英単語を読めるようにしていく指導法です。英語は日本語と違って、A(エー)、B(ビー)、C(スイー)と、いくらアルファベットの26音を読めるようになって、実際の単語を読めるようにはなりません。そこで、英語圏で音声言語に親しんでいる子どもたちがスムーズに文字言語に入っていく、自力で本を読むことができるようにと開発されたのが「フォニックス」なのです。

例) アルファベット読み ピー イー ティー → ピー・イー・ティー

p e t

フォニックス読み プ エ トゥ → プエトゥ → ペットゥ

★アルファベットが実際の単語の中で発音される音を「フォニックス読み」と言います。

フォニックス読みのルールに慣れ親しむことで単語を読むことができ、その練習過程において発音を分解・統合する作業が入るため、現在は外国語として英語を学ぶ学習者が文字を読む能力を高めるために、また発音を矯正するためにも活用されています。

フォニックス指導法

フォニックス指導にはいくつかの方法があります。

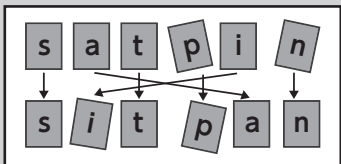
① aは「ア」、bは「ブッ」、cは「クッ」というフォニックス読みの音で覚え、すでに音声ではよく知っている単語を使って、音声と文字との関係を築いていく方法。

ア ア アップル ア ア アントゥ
「a, a, apple. a, a, ant.」
ブ バットゥ ブ バックス
「b, b, bat. b, b, box.」

のように文字を見ながらリズムよく声に出して指導していきます。



② フォニックス読みの文字を組み合わせることで単語を読んだり書いたりする方法では、例えば、s, a, t, p, i, nの文字とそのフォニックス読みの音を学び、これらの文字を組み合わせるとsit, pat, panなどの単語を読んだり書いたりします。



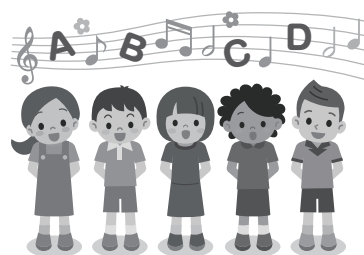
③すでに音では知っている単語を文字で示し、音とつづり字の关系到気づかせていくものもあります。例えば、発音と意味をすでに知っているcake, take, makeという単語を文字で示し、共通している「-ake」の部分は「エイクッ」と読むことや、この場合のeの文字は発音しないことに気づかせ、fakeならどのように発音するのかを考えさせるようなやり方です。

フォニックスを学習する際の留意点

フォニックスは容易に音と文字との関係に気づかせることができます。そのため、「聞く」「話す」から「読む」「書く」の活動へと発展させやすくなります。しかし、フォニックスはもともと英語圏の英語学習者を想定しているため、外国語として学ぶ学習者にそのまま当てはめてもうまくいくとは限りません。そこで、私たち日本人がフォニックスを学習する際に留意すべきことを3点あげておきます。

1. 事前に音声とアルファベットに慣れておく

日本ではふつう生活の中で英語を使いませんので、最初からフォニックスを導入すると、学習者に負荷がかかりすぎて英語嫌いの原因となってしまいます。フォニックスを始める前に、まずは音



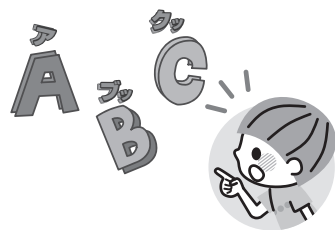
に慣れ親しんでいることが大切です。また、文字を覚える前に文字を見せる機会を多く作り、文字の形に慣れさせておくことも大切です。そのためには、例えば文字を示しながらABCソングを歌う活動があります。大文字の場合と小文字の場合が必要です。

2. 事前に日本語とは異なる英語の子音に慣れておく

子音のf, v, th, s, zなどの摩擦音やp, t, k, b, d, gの破裂音にも慣れておくことが望ましいでしょう。この摩擦音と破裂音を単独で出せるようになると、子音だけを認識したり発音したりすることが容易になり、フォニックスを効果的に活用できる素地を育てることができます。

3. フォニックスの限界を知る

英語のつづりには不規則なものが多く、フォニックスのルールでは説明できないthe, you, doのような基本語があります。これらは単語全体を視覚的に認識して全体として発音を覚えていくサイトワード(sight word)という指導法を併用することで解決できます。また、フォニックスは単語を読む方法を教えるだけで、語の意味や文の意味理解とは関係ありません。したがって、フォニックス学習時にはピクチャーカードを併用するなどして、常に単語の意味や言語使用場面がわかるようにしておくことが望まれます。



何よりも大切なこと

小学生にとって大切なことは、理屈抜きで「英語って何だか楽しい!」という感覚を持ち続けることです。英語講師の方々には、音声言語に加えて文字言語を指導すべきタイミングの時に適宜フォニックスを活用しながら、多くの子どもたちを、声に出して発音できる喜びから文字を見て発音できる喜び、英語での読書を楽しめる喜びへと導いていって欲しいと思っています。